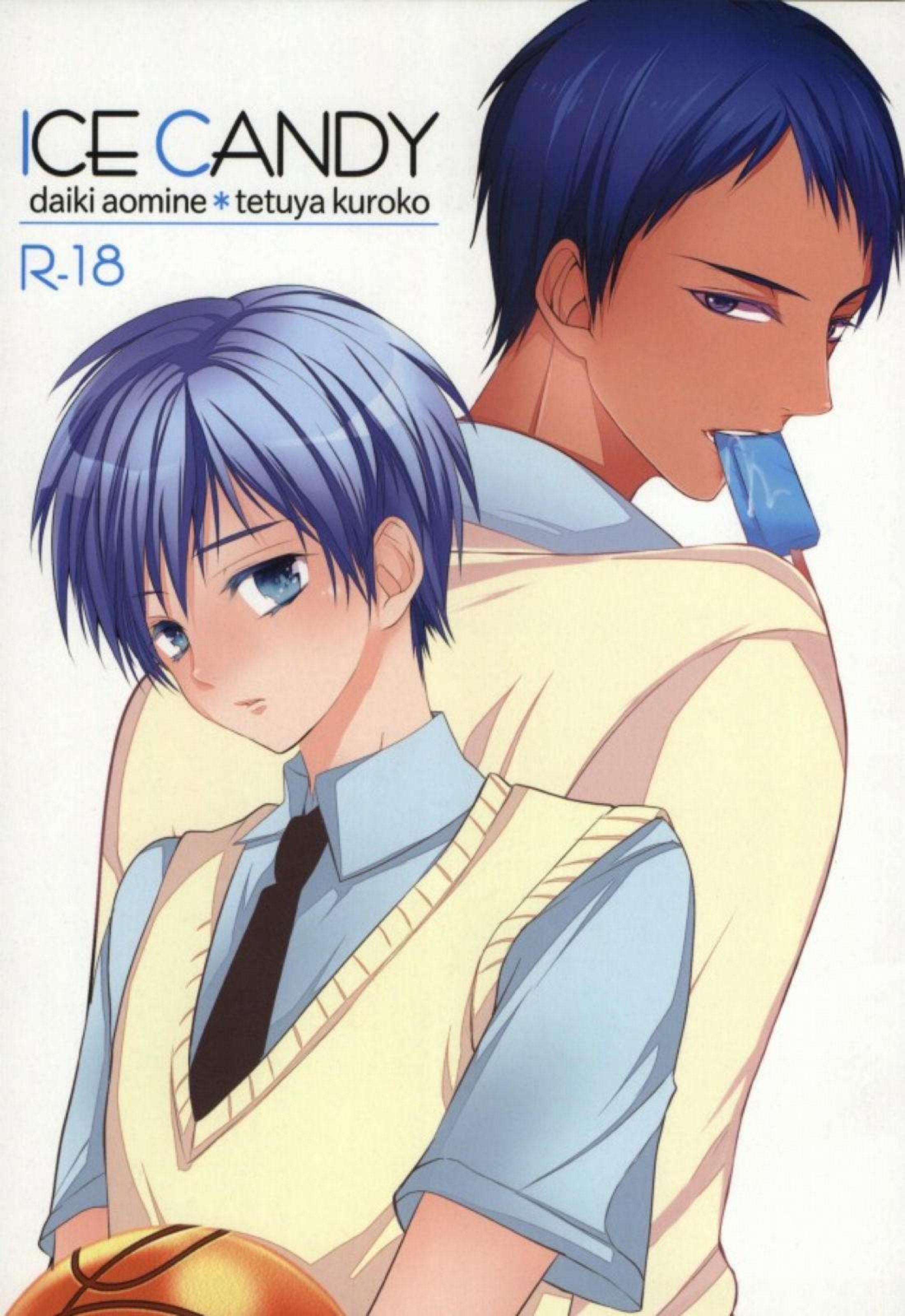


ICE CANDY

daiki aomine * tetuya kuroko

R-18



わんわん



何でこう日本の夏は
ジメジメ蒸し暑いんだよ
部活後なんて地獄だぜ
つたくよ……



あーっ



!?

これ……
オススメです



アイスでも食って
クールダウンつと……

フッ







おいっ
それ食つたら
付き合えよなっ

ハッ
ス

ハッ
ス

ハッ
ス



っーか
お前：
そのアイス
好きなのか？

まっ！

毎日食ってんじゃ
いーかげん
飽きねーか？



このアイス
好きなんです

青峰君
やっぱり屋上に
居たんですね

んーテツか？

そのアイス：
また学校を抜け出して
サボったんですか？

げっテツまで
さつきみたいな
事言うなよ



今日も部活に出ないんですか？

んー
どっすかなー

最近顔すら出さずにいるじゃないですか

今週は他校との練習試合だって控えてるんですよ？

練習なんざしなくたって十分なんだよ俺は

チームで戦ってるんですよ？

なんだよその顔は…

他のメンバーは俺が居ない分ちやんとカバーしてくるだろ？



本当は練習に
出たくない理由が
他にあるんじゃない
んですか？

...



僕とパートナー
組むのが嫌なんじゃ
ないんですか？

あ
あ



ずっと避けられてるって
感じていたんです
でも口にするのが怖くて
心の奥底に押し込めて
しまっていました…

…僕は
青峰君と一緒に
バスケットがしたかったから

僕の悪い所があるなら
遠慮しないで
そう言って下さい

青峰君は僕にとって光なんです
光を覆い隠すような
足手まといにはなりたくない



俺がどんな思いで
我慢してきたのかも
知らねーくせに

...!!?



な...なんでキスなんか



そんなに知りたいたいなら
教えてやるよっ

言つとくけど
テツが悪いんだからなら
あんな目で俺を見るから

お前のことを思って
俺の気持ち
言うのはやめようと
思ってたのに…

青峰く…ん
何をっ

青峰くん…?
何を言つて?

お前…本当
鈍感すぎんだろ?

んっう…

俺にバスケをして
欲しいんだろテツ?
言ったら俺の
言うとおりに
しろよ…

青峰君…やめっ
やめてくださっ…

俺がどう思ってるか
知りたかったんだろ？

だからって何で
こんな事っ
やめ…てあっああ！

何で…
どうしてこんな

あつやだ…
駄目それ以上はっ

あつ駄目ですっ
そこは…

ひっ汚いから
離してくださいっ
やだ青峰君の口の中に
でちゃ…ひっ

こんな
仕打ちをする位
僕の事が
疎ましいと感じて
いたんですか…？

なんだよすげえ沢山
出たな…
バスケばっかして
抜いてなかったのか？

すげえ眺め
ドロドロだなテツ…

うっはあ…
あ…

ひっなんて
そんなところ
触らないで
ください

やあつ
青峰君
やめ…やだ



青峰君そんなになつて
僕の事が嫌いになつて
しまつたんですか？



俺にもう近づくな
またこんなこと
されたくなきやな

青峰君は僕の事を
突き放そうとして
あんなことを
したんでしろうか？

それとも――

おい黒子っ
何ほーっとしてんだよっ

W
H



そういえば
あの時の青峰君の唇も
このアイスみたい
冷たかった

アイ...



ちよっ…何泣いてんだよ!?

どうした?
アイス食って
腹でも壊したか?



あつた
あつた
あつた

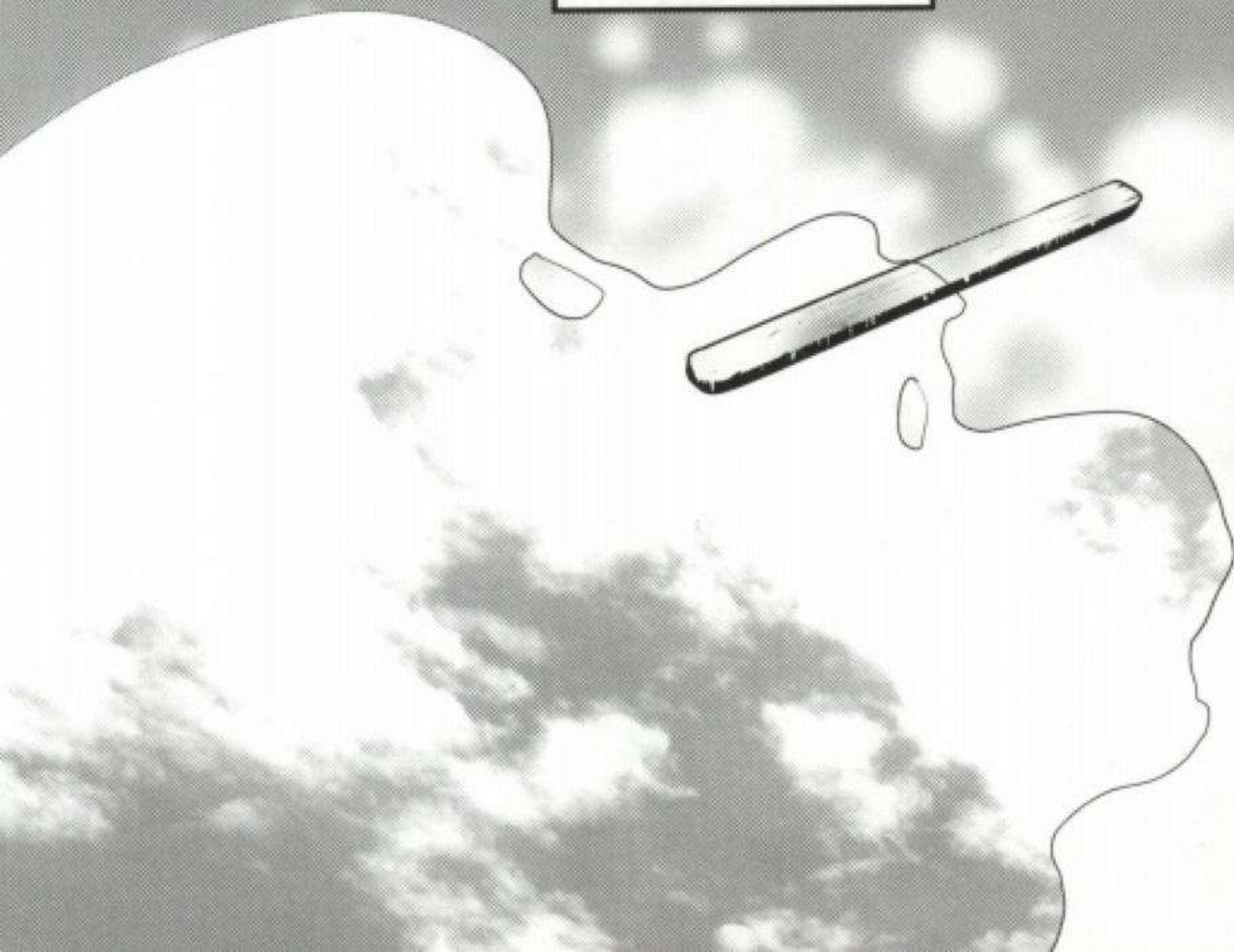
そんなんじや
ないです…

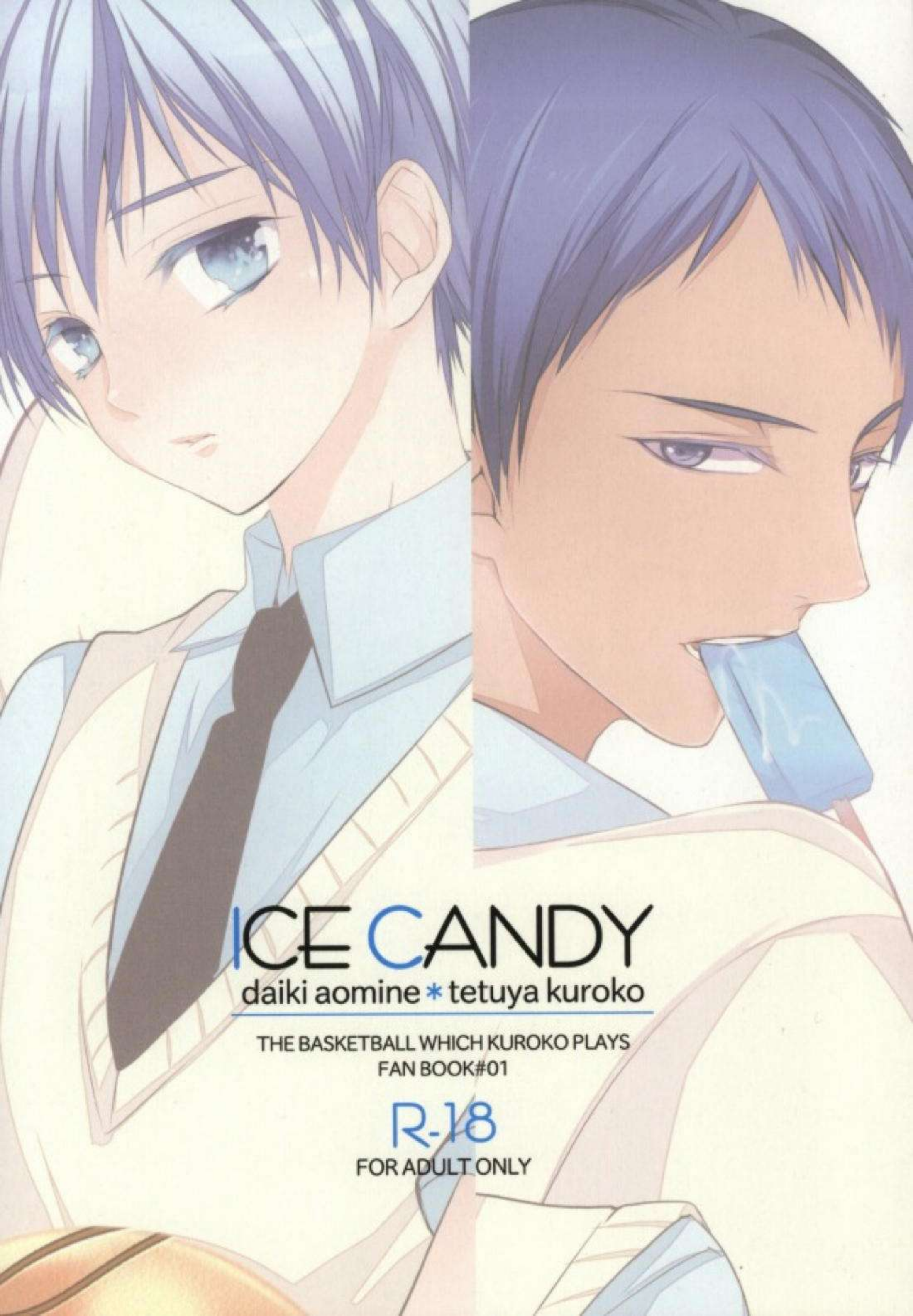
アイス溶けちゃったんで
もう一本買ってください…

人の話を聞けっ
折角心配してやってんのに
うそ泣きかコノヤロー!



青峰君の中の
僕はまだ溶けて
いませんか？





ICE CANDY

daiki aomine * tetuya kuroko

THE BASKETBALL WHICH KUROKO PLAYS
FAN BOOK#01

R-18

FOR ADULT ONLY